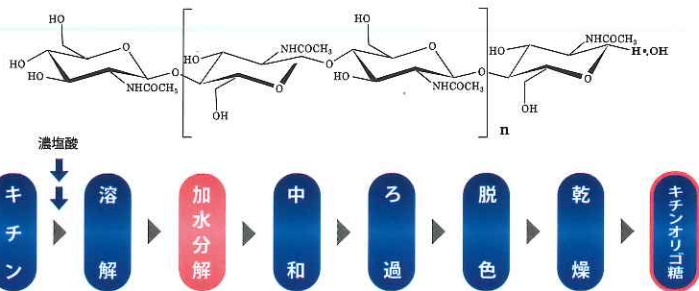
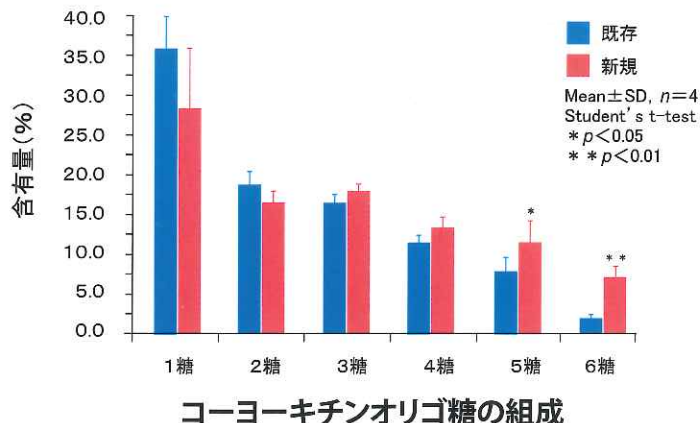


甲陽ケミカルが製造するキチンオリゴ糖、キトサンオリゴ糖の有用性

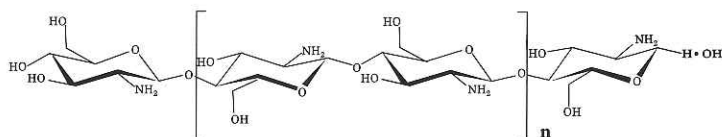
高重合度のキチンオリゴ糖



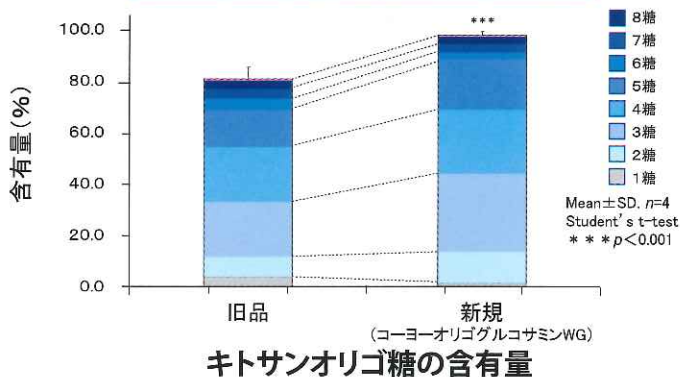
加水分解方法を改善した新規製造技術(特許第5714963号)により、高重合度(5,6糖)の含有量が高いキチンオリゴ糖を実現



高含有、褐変抑制のキトサンオリゴ糖(オリゴグルコサミン)



褐変の原因と考えられるメイラード反応(アミノ基とカルボニル基の反応)を抑え、脱色を行う新規製造方法により、褐変が抑制され、高含有化を実現



キチンオリゴ糖・キトサンオリゴ糖の報告

キチンオリゴ糖

- 重合度の高いキチンオリゴ糖には抗腫瘍活性が認められ、血中白血球の走化性を強く増加させることがマウスで明らかにされています¹⁾。
 - 抗腫瘍活性は、特に6糖(NACOS6)が顕著であるとされています¹⁾。
 - 「コーヨーキチンオリゴ糖」はマウス経口投与による抗腫瘍活性が報告されています²⁾。
- ➡ 甲陽ケミカルは高重合度の含有量が多い「コーヨーキチンオリゴ糖」の提供が可能です。

キトサンオリゴ糖「コーヨーオリゴグルコサミンWG」

- 「コーヨーオリゴグルコサミンWG」は、ヒトNK細胞活性化による免疫賦活作用が確認されています³⁾。
 - 「コーヨーオリゴグルコサミンWG」はマウス経口投与による抗炎症作用、抗腫瘍活性が報告されています²⁾。
- ➡ 甲陽ケミカルは褐変が抑制され高含有の「コーヨーオリゴグルコサミンWG」の提供が可能です。

1) Suzuki K et al., Microbiology and Immunology, 30, 777-787 (1986)
2) Azuma K et al., J. Funct. Biomater. 2015, 6, 33-49
3) 梶本ら, 日本臨床栄養学会雑誌 21(1): 41-47, 1999